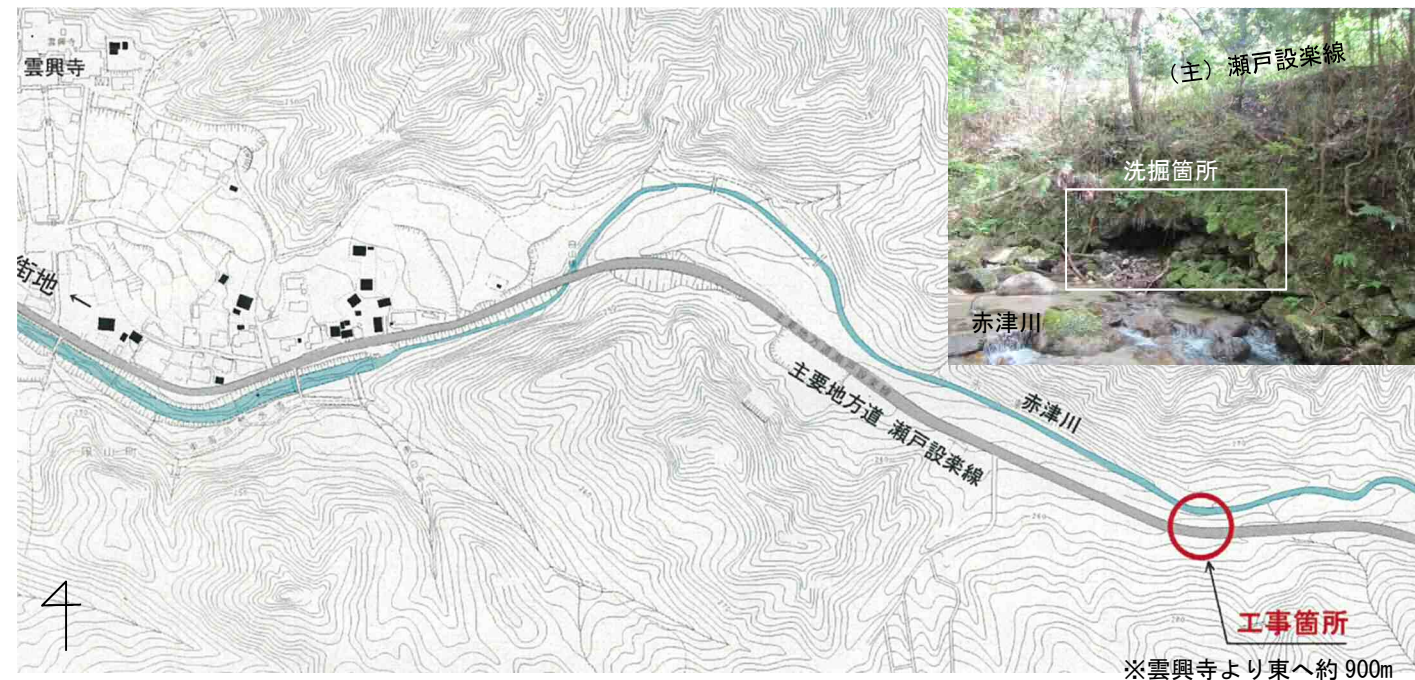


## I はじめに

- ・瀬戸市南白坂町内の主要地方道瀬戸設楽線と赤津川との間にある法面（石積み護岸）が洗掘され危険な状態となっていました。そのため、対策工事の設計検討を行い、必要な用地について買収をさせて頂き、平成 2 8 年 1 2 月に対策工事に着手し、翌年 4 月に完了しました。
- ・赤津川は透明度の高い河川であるとともに、工事箇所の下流では瀬戸市の水道取水口があることから、工事の施工方法や工事中に発生する濁水の処理方法などについて、平成 2 6 年 1 0 月 2 9 日に瀬戸市環境審議会において説明させて頂きました。
- ・このたび、工事が完了したことに伴い、具体的な工事の方法や赤津川に対する工事中の濁水対策などについて、ご報告させて頂きます。



## II 対策工事の結果等

- ・工事の施工箇所は、雲興寺より東側の約 9 0 0 m の箇所で行いました。
- ・下の「工事着手前」と「工事の完了後」の状況写真のとおり、大型のブロックを積むことで洗掘されていた危険な状態を解消し、安全・安心を確保することができました。



▲工事着手前の状況



▲工事完了後の状況

## III 工事中の濁水対策及び、工事の方法

### ○工事中の濁水対策

- ・赤津川に工事中の濁水が流れこまないように、工事箇所の上流側にて大型土のうで川の水をせき止めてポンプで水を吸い上げ、下流側へ放流しました。



▲上流側で水をせき止めてポンプで吸い上げ、下流側へ放流



### ○工事の方法

- ・県道を片側交互通行（2 4 時間）とした後、洗掘されている周辺の法面を掘削しました。次に大型ブロックを順次積み上げていき、完了しました。



▲法面の掘削（下流側）



▲大型ブロックの積み上げ



▲完了

## IV 水道取水口付近での水質調査結果

- ・工事中は、瀬戸市水道課と協議を行った上で工事箇所の下流にある瀬戸市の水道取水口付近で「SS（浮遊物質）」「PH（水素イオン濃度）」といった項目について、水質調査を実施しました。詳細な結果は下表のとおりです。

	測定日	工事の作業内容	SS(mg/l)	PH
第1回	平成28年12月15日	大型土のうの設置	21.8	6.98
第2回	平成29年 1 月 6 日	ポンプの設置・初期稼働	79.7	7.17
第3回	平成29年 2 月 6 日	大型ブロックの積み上げ	14.0	7.34
第4回	平成29年 2 月22日	大型ブロックの積み上げ	14.0	7.45
第5回	平成29年 2 月27日	大型ブロックの積み上げ	14.0	7.35
第6回	平成29年 3 月 6 日	大型ブロックの積み上げ	14.0	7.43
第7回	平成29年 3 月13日	法面の仕上げ	14.0	7.45



▲水質調査の状況



▲現地簡易測定

※生活環境の保全に関する環境基準（A 類型）では「SS：25mg/L 以下」「PH：6.5～8.5」と定められています。

※第 1 回調査時点は「大型土のうの設置作業」、第 2 回の調査時点は、「ポンプの設置作業・初期稼働」を実施していたため、SS の数値が高くなっていますが、瀬戸市水道課と事前に調整を行い、水道の取水は止めてもらいました。

※工事期間中は、赤津川下流での農業用の取水が無いことも確認しました。